

野田聖子内閣府特命担当大臣、被災跡地の利活用と障害者活躍現場に視察来訪 ～SDGs 貢献への取組み・農産物栽培拠点「幸 満つる郷 KDDI エボルバ 野蒜」～

株式会社 KDDI エボルバ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：若槻肇、以下 KDDI エボルバ）の農産物栽培拠点「[幸 満つる郷 KDDI エボルバ 野蒜](#)（宮城県東松島市、以下 幸満つる郷）」に、野田聖子内閣府特命担当大臣（地方創生 少子化対策 男女共同参画、以下 野田大臣）が2021年11月13日、来訪されました。

このたびの来訪は、東日本大震災の被災地である南三陸、東松島市の復興状況を視察する中で、被災跡地を利活用した地方創生事業と、障害者・高齢者雇用と活躍を推進する現場として「幸満つる郷」にお声がけをいただき、実現いたしました。



中央 野田大臣、お土産にお渡しした栽培・収穫した野菜と自家製ソース・ジャムを手に。
左「幸満つる郷」所長 溝江健太郎、右 KDDI エボルバ代表取締役社長 若槻肇

当日は、野田大臣をはじめ、東松島市長 渥美巖氏、関係者の皆さまに「幸満つる郷」における農産物栽培・販売を通じた地域コミュニティの活性化や、障害のある方々が働きやすい職場環境・体制・地域雇用への工夫、自然再生活動への参画などを紹介いたしました。

視察の中で野田大臣は「農福連携による地方創生」の実践に触れ、『地方創生の事例としてすごく感動しました。農福連携を体現し、これからの農業を立て直すマンパワーとして向き合っていることを、すごくうれしく思います。農業と流通のいい共創ができ、障害者に支えられるような事業体を作ってくれています。今後、応援できることを考えたいと思いました』とお言葉をいただきました。





意見交換会にて「幸満つる郷」の地方創生と障害者活躍に向けた工夫・実践、働く社員について紹介

■幸満つる郷 KDDI エボルバ 野蒜（さち みつるさと KDDI エボルバ のびる）

「幸満つる郷」は、SDGs未来都市の東松島市と連携し、「農福連携」に被災地復興、地方創生の視点も取り入れた活動をしています。大津波被害を受けて居住禁止区域に指定された地区を畑として利活用できる土壌に育て、30品目以上の農産物を栽培しています。農産物の栽培だけではなく、販売接客やボランティア、地域イベント参加等のさまざまな取組みを共に実践している社員一人ひとりの個性を尊重し、出来る事を一つひとつ増やし、やりがいを感じて笑顔で活躍できる職場づくりを大切にしている拠点です。

「幸満つる郷」の取組みはこちらから : <https://www.k-evolva.com/recruit/challenged/nobiru/>

動画で見る「幸満つる郷」の地方創生事例「スマート農業」



<https://youtu.be/pUn7ocs-iE8>

KDDI エボルバは、今後も、地域との連携を深めた地方創生と障害者と高齢者の雇用創出を通じて、東松島市の復興支援に取り組んでまいります。

- ・一部写真は、撮影のため一時的にマスクを外しています。
- ・本リリース本文中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

●KDDI エボルバは、豊かなコミュニケーション社会の実現を目指す SDGs 活動として、障害者雇用と地方創生を通じた東松島市の自然再生・まちづくりに取り組んでおります。